

## 第51回在京白聖会総会・懇親会開催概要

日 時: 2019年5月11日(土)

総会・懇親会 16時から

受付開始 15時30分より

場 所: ホテル ラングウッド

(〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 5-50-5)

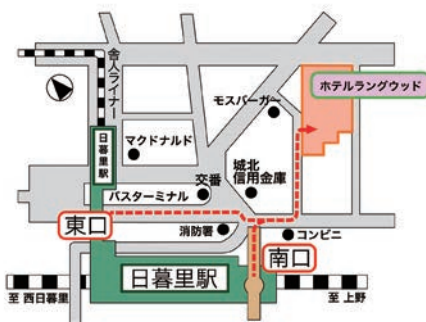
参加費: 一般 8,000円/学生・院生 1,000円

(在京白聖会平成31年度年会費2,000円

は別途受付にて納入できます)

●申し込みは、ぜひウェブまたはスマホから  
http://bit.ly/hakua2019

## ホテルラングウッド 交通アクセス



・日暮里駅南改札口には、エスカレーターやエレベーターの設置がありませんので、大きな荷物がある場合には東口をご利用ください。

## 最寄駅

・JR山手線・京浜東北線・常磐線、京成線  
日暮里駅南口改札徒歩1分  
・日暮里・舎人ライナー 日暮里駅 徒歩3分

在京白聖会  
2019 総会シンプルに交流を楽しむ  
5月11日(土)ホテルラングウッドで開催

第51回在京白聖会総会・懇親会を、5月11日(土)、日暮里のホテルラングウッドで開催します。テーマは「親睦は時空を超えて〜温故知新〜」といたしました。

諸般の事情により、今回の幹事は、事務局にて募った有志メンバーで行います。コンパクトな会を志向し、総会・懇親会のみシンプルな形としますが、その分、参加した方々のコミュニケーションに時間を割けるように努めます。

開催場所は昨年と同じホテルラングウッドです。広い会場を活かし、全員着席形式として、ゆつくり懇談していただきます。

## 在京白聖会報

## 第46号

2019年3月16日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会

在京白聖会

事務局長 藤井則夫

(事務局)

〒143-0015 東京都大田区

大森西 2-17-4-201

TEL. (03) 6404-6379

FAX. 直通 (03) 6404-6379\*00

E-mail: hakua\_office@pmp-jp.com

(http://www.hakua.org/tokyo/)

題字: 浅沼 一道



参加者同士の交流が楽しい懇親会

テマには「年次を超えて、話し合い・飲み合って親睦を深めていただきたい」という願いを込めております。共通の話題の一通りとして、応援歌にスポットをあて、応援の力ラオケで



昨年の懇親会アトラクション

曲名当て早押しゲームなどを準備しております。参加したみなさまが、年次を超えて、新たに出会い、楽しく白聖の輪を広げていただけるよう、幹事一同努めます。

申込は、①同封した「申込はがき」の返信か、②ウェブからの申込を選択いただけます。4月20日(土)までにご連絡ください。できるだけ、郵便コスト(一通77円)がかからないウェブからの申込を優先していただくことが幸いです(この場合は申込はがきの返送は不要です)。

当日、ご一緒に校歌を歌うことを楽しみにしております。お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

(幹事代表 S55卒 伊藤 総)



懇親会最後の校歌斉唱 (2018)

## お願い

同封の振替用紙にて2019年度年会費2,000円のお振込をお願いします。お振込はなるべく、窓口ではなくATMをご利用下さい。



第16回ゴルフ大会 (2018.10.19 ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎) は24名が参加。年次対抗戦優勝はS40卒(細越博資、斎藤修、江尻伸、小林昌彦)、個人戦優勝はS48卒戸田純さん、ベストスコア賞はS20卒 鈴木昭久さん(スコア89)。

※実施要領はほぼ昨年と同じですが、次号会報並びに在京白聖会HPでご案内いたします。

募集組数...8組(予定)

開催日...2019年10月18日(金)  
会場...ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

参加をお待ちしております。多くの会員の参加を計画しています。

本年もザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎で開催します。個人での参加も可能かつ、セルフ(キャディなし)組とキャディ付組を構成し、どなたでも気楽に参加できます。また、東京・八重洲から往復のバスも準備し、帰途、バス車内で年次を超えた懇親会も計画しています。

2019年10月18日(金)  
第17回在京白聖会ゴルフ大会

## 「ゴルフ大会」参加者募集



## 新執行部体制で初の総会

昨年の第50回記念総会で戸田純新会長(S48卒)、三浦千波副会長(S50卒)、國本聡副会長(S57卒)体制へのバトンタッチが承認されました。戸田新執行部の門出を祝福し、年号も「平成」から新しい年号に代わります。

「踏襲すべきは踏襲し、見直すべきは見直したい」と抱負を語る戸田新会長の元、同窓生が年次を超えて交流し語り合う同窓会をいっしょに盛り立てて行きましょう。会員の皆様のご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。



がっちりスクラムを組む戸田純新会長(中央)と三浦千波副会長(向かって左)、國本聡副会長(同右)。〈2018総会〉



S63卒の森知英さんと大津佐知子さん

音楽家だが、演目は、歌曲を中心に計9曲。このうち、ラフマニノフの「ヴォカリーズ」は、ピアノの歌曲としてよく知られた曲だが、ヴァイオリンや様々な楽器で演奏されることが多くて、実は歌われるのは珍しいようで、この作品を大津は初め哀調を帯びた歌い出しから次第に盛り上がる曲想を力強く歌いきっていた。

また、石川啄木の詞に越谷達之助が曲を付けた「初恋」では、やはり曲想をつかんで朗々と歌い上げて感動的だった。続いて歌われた宮澤賢治詞、保坂文昭

## は・く・あ・ぽこ

### ソプラノ大津佐知子&ピアノ森知英

「は・く・あ・ぽこ」というちよつと変わった題名のコンサートが2019年1月11日(金)、新宿のマエストロ音楽院で行われた。在京白聖会前会長・馬場信さん(S41卒)のブログ「ABABA'sノート」に同コンサートの様子が紹介されているので転載する。

出演したのは、ソプラノ大津佐知子、ピアノ森知英。ともに昭和63年卒の白聖同窓で著名な

音楽家だが、演目は、歌曲を中

曲の「星めぐりの歌」など賢治の世界を彷彿とさせた。さらに、ブッチーニの歌劇『蝶々夫人』から「ある晴れた日に」では、初めイタリア語、途中から日本語、そして締めくくりに再びイタリア語と歌い分けていて面白い趣向だった。それも、言語の変わり目を感じさせない1本の流れるような歌いっぷりで感心した。

大津さんの歌は、ソプラノ歌手としての声の素晴らしさに加え、表情なども豊かで聴き惚れるような内容だった。また、森さんのピアノはもはや一流のピアノストラilliオリジナルリテイ

の高い卓越した演奏だった。

ところで、S63卒同期の二人だが、その経歴が対照的である。森さんは、高校時代から頭角を現し、藝大を出てベートーヴェン国際ピアノコンクール第4席入賞やシヨパン国際ピアノコンクールのデュプロマなど数々のピアノコンクールで入賞を果たしてきた第一人者。毎年のリサیتالでは多くのファンを魅了している。

一方、大津さんは、高校卒業後は東京女子大に進み日本文学を専攻、出版社勤務の傍らアマチュアオペラ団に所属していたが、渡米してジュリアード音楽院を修了、声楽家としてプロの道を踏み出したという異色の経歴の持ち主。現在は様々なオペ

ラやコンサートに出演し人気を博している。

それが、1年前の高校同期の新年会で再会、意気投合して二人で何かやってみようかということに。それで実現したのがこのたびの音楽会。大津さんの歌に森さんが伴奏した豪華な組み合わせで、高校同期ならではの実現した。音楽会の題名「は・く・あ・ぽこ」の「ぽこ」とは音楽用語で少しづつを意味するポコアポコから引用されたもので、小さな音楽会ということ为名づけられたようだ。

この日歌われた石川啄木や宮澤賢治も白聖の先輩。音楽会の会場も小さなサロンといった様子で、いかにもポコらしいセッティングで、親しみやすくも素晴らしい音楽を堪能することができたコンサートだった。



「は・く・あ・ぽこ」コンサート風景

## 「レディス会」参加者募集

### 在京白聖レディス会

6月22日(土) 開催

第15回「在京白聖レディス会」を次の通り開催します。多数のご参加をお待ちしています。

日時…2019年6月22日(土)

受付…11時半～

開始…12時～15時

場所…Sun-mi 高松本店

中央区銀座6-3-9

(電話03-5568-3300)

地下鉄銀座駅徒歩2分

(C2出口)

会費…5千円

※ゲスト未定。詳細はおってホームページ等でご案内いたします。戸来ソウ子(S40卒)

## 自彊寮OBはご連絡を!

●「自彊寮」来春廃止!

「惜別の会後援」など実施予定

盛岡一高の男子寮「自彊寮」が、2019年の新年度から入寮募集を停止しました。2020年3月で閉鎖されますが、在京の自彊寮OBの方の把握ができていません。今後「惜別の会(仮称)」などのイベントのご案内をします。該当者は事務局へ至急メールアドレスのご連絡をお願いします。



廃止される緑が丘の「自彊寮」



平成30年12月10日(月)～15日(土)  
会場：文房堂 4階ギャラリー  
(神田駿河台下)

# 2018 白堊芸術祭

〈出展リスト〉



白堊芸術祭での「歌の祭り」にて (2018.12.13)

## 「白堊芸術祭」会場で同期会も！

11回目を迎えた今回、会場設営後のオープニングパーティーを会場でいき、ゆっくりと歓談できました。開催期間中に41会が会場の画廊で同期会を行うなど、さまざまな交流の場として利用されるようになりました。今年もどうぞ便利にご活用ください。



戸田忠祐さん (S20卒・左) の  
ご著書『Gook man ノート』を  
紹介する三浦千波さん (S50卒)



会場設営を終えて (2018.12.9)



設営後、会場でオープニングパーティー (2018.12.9)



▲坂本 務 (S44卒)  
〈白い帽子女〉



▲三浦 千波 (S50卒) 〈風景〉



▲菊池 雅子 (S44卒) 〈刻の語らい〉

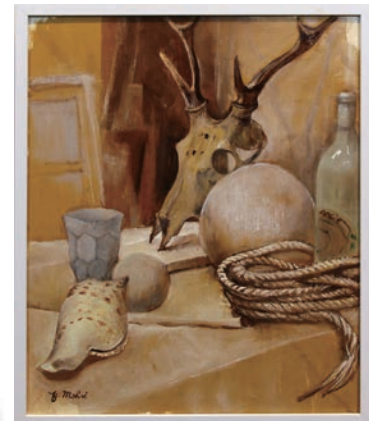


▲福田 隆 (S49卒)  
〈甲斐駒ヶ岳〉



◆及川 昭伍 (S25卒)  
〈宇宙～焼締  
破球体花入～〉

伊藤 総 (S55卒)  
〈航空縮図〉



▲毛利 洋子 (S41卒)  
〈カマイユ技法による静物〉





▲金濱 雄次 (S38卒)  
〈十月の昼下がり〉



▲小山 卓也 (S32卒) 〈ふるさとの海〉



▲伊東 明子 (S50卒) 〈紅花〉



▲宮野谷 篤 (S53卒)  
〈五月晴れ富士遥か〉



▲柏木 宣郎 (S36卒) 〈円覚寺参道〉



▲戸田 忠祐 (S20卒)  
〈ふるさとの城址〉



▲伊藤 公雄 (S34卒) 〈静物〉



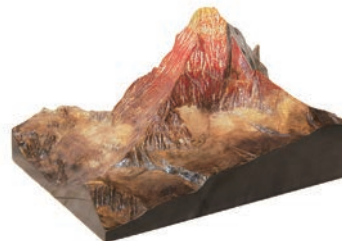
▲南館 英孝 (S36卒) 〈橋〉



▲森 豊彦 (S40卒)  
〈獅子踊り〉



▲及川 宣幸 (S42卒)  
〈トリストラン…  
あるいは氷のエクスタシー〉



▲千葉 祐治 (S41卒)  
〈モルゲンロート〉



▲工藤 宏子 (S37卒)  
〈チャグチャグ馬っこ(夫婦)〉



▲八重樫 誠司 (S53卒)  
〈切り込み隊長(キリコ見たいっちょ)〉





▲村上 忠司 (S32卒) 〈ふるさと 冬〉

▲馬場 信 (S41卒)  
〈渥美半島伊良湖岬灯台〉▲畠 順一郎 (S41卒)  
〈フランクロイドライトの椅子〉▲玉澤 健児 (S43卒)  
〈ヘレン環礁  
(ミクロネシア) のカスマアジ〉村谷 尚▶  
(S54卒)

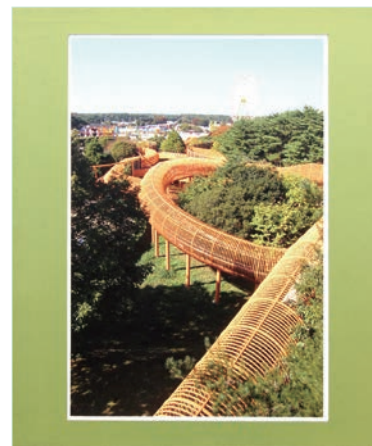
〈江戸の舟遊び〉



▲紀 章 (S56卒) 〈花 空〉



▲吉田 春雄 (S38卒) 〈一期一会〉

▲柳内 久俊 (S43卒)  
〈山紫水明 一津軽石川〉

▲村野井 徹夫 (S35卒) 〈畝り〉

平野 恵子▶  
(S53卒)  
〈Snow hole〉▲藤澤 貢 (S61卒)  
〈写日記 -2018-〉▲戸田 純 (S48卒)  
〈そんなに見つめないで...〉宮沢賢治朗読と  
白聖歌会作品  
展示コーナー

- 五行歌・短歌  
稲垣 裕雄 (伊奈裕・S38卒)  
山田 武秋 (S42卒)  
小川 瑞子 (はま栗・S48卒)  
木下 明子 (龍津泉・S52卒)  
村谷 尚 (S54卒)  
青山すみれ (白聖歌会会員)
- 宮沢賢治朗読  
「注文の多い料理店」  
野口 田鶴子 (S40卒)







▲佐藤法雄 (佐藤容齋・S50卒) 〈吟風弄月〉



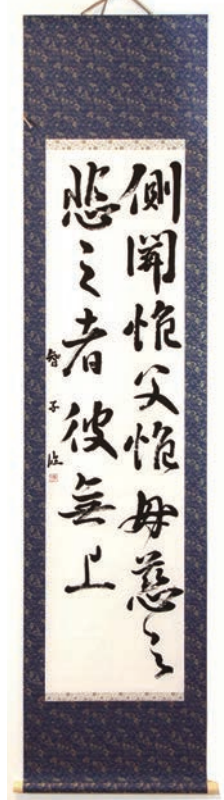
▲浅沼 榮一 (浅沼一道・S27卒)  
〈百福〉  
※浅沼一道さんは2018年  
8月12日ご逝去されました。



▲武田 夏実 (武田素虹・S53卒)  
〈「石山切伊勢集」  
臨書〉



▲池上 敦子 (S50卒)  
〈皇后陛下の  
詠まれた歌〉  
〔「何処にか流れのあら  
む尋ね来し遠野静かに  
水の音する」〕



▲國分智子 (S32卒) 〈伊都内親王願文「側聞惟父惟母」〉



▲三浦千江美 (S53卒)  
〈臨 粘葉本和漢  
朗詠集〉



▲水原 滋 (S50卒)  
〈HAKUART 2018〉



▲晴山 康夫 (S45卒) 〈朝顔〉



▲辻田 よね子 (辻やのか・S55卒)  
〈NE・GA・I〉



▲間瀬隆男 (S36卒) 〈忠実自彊と啄木先輩のうた〉



▲戸澤 聰 (S40卒)  
〈岩手山〉



▲菊池 輝彦 (S38卒) 〈アジサイ〉



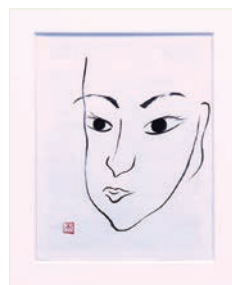
▲坂本 美枝子 (S45卒)  
〈クリスマスリース〉



▲田村 仁 (S50卒) 〈観〉



「歌の祭り」(2018.12.13)



▲佐々木 美枝子 (S43卒)  
〈清浄〉



▲小原 隆史 (S41卒)  
〈岩手の花灯り  
(山百合 姥百合 高砂百合)〉



## 在京白聖メディカルクラブ

第6回総会を開催  
2019年3月2日(土)

在京白聖メディカルクラブは、2019年3月2日(土)、第6回総会を東京ドームホテルにて開催しました。今回は盛岡から、村上圭一現盛岡一高校長、谷村邦久前白聖同窓会会長、岩手県医療局3名の参加もあり、総勢38名となりました。

総会では、東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野教授の中里信和さん(S53卒)



第6回在京白聖メディカルクラブ総会 (2019.3.2)

に、「あんしん、あったか、あかるく、てんかん」という演題名で、てんかんという病気についての講演をいただきました。

総会の後、懇親会で親睦を深めました。会員からの紹介もあり年を追う毎に参加人数はすこしずつ増えております。総会のお知らせ等は今後も「在京白聖会」サイトで情報を更新していきますのでご確認ください。

医療関係業務に携わる在京白聖会会員の皆様の参加をお待ちしております。また新規会員情報をごさいましたら事務局までご連絡下さい。

●柴孝也さん「瑞宝小綬章」受賞で盛大に祝賀会

平成30年秋の叙勲で在京白聖メディカルクラブ代表幹事の柴孝也さん(S33卒)が「瑞宝小綬章」を受章。作家の伊集院静さんや在京白聖メディカルクラブの志和利彦さん(S47卒)らが発起人となり、平成31年1月19日、東京ドームホテル「天空」で盛大な祝賀会が行われました。42年間衆議院医務室に貢献していたことや、読売巨人軍、東京ドームの嘱託医として永年貢献されたこともあって祝賀会には衆議院議員の階猛さん(S60卒)、千葉県

知事の森田健作さんほかプロ野球界から王貞治さん、堀内恒夫さん、江夏豊さんなどの著名人が多数参加。白聖同窓も在京白聖メディカルクラブが26名、在京白聖会5名の計31名が参加しました。



柴孝也さんの「瑞宝小綬章」叙勲祝い会場風景

乾杯のご発声は、白聖同窓で最年長者の及川昭伍さん(S25卒)。会の締めくくりは泉山肇さん(S58卒)の音頭で、柴さんを加えた総勢32人が盛岡一高校歌を斉唱、エールをおくって祝福しました。

(志和成紀 S58卒)

## 「歌の祭り」参加者募集

第21回「歌の祭り」  
2019年8月11日(日)開催

「歌の祭り」はジャンルを問わず歌唱を楽しむ会です。最近ではピアノ、フルート、サクソス(お琴も!)等器楽演奏を披露してくださる人もいます。次回、第21回は左記の通り開催します。初めての皆さんもお気軽に参加ください。

## 〈開催概要〉

日時: 2019年8月11日(日)

受付開始: 11時30分

開演: 12時~17時

会場: 笹塚「ブルーティ」

渋谷区笹塚1-61-8

電話: 03-3319-2649

会費: 5千円(食事代+飲物代)

エントリ: 曲数: 1人2曲以内

申込先: 高橋利宏さん(S41卒)

〒174-0064

板橋区中台3-27-G-801

電話: 090-6476-7109

Mail: toshitakahashi@softbank.jp

申込締切: 6月30日(日)

## 〈「歌の祭り」活動報告〉

## ●2018白聖芸術祭

昨年12月13日(木)14時より文房堂ギャラリーにて、会員の皆さんの素晴らしい作品に囲ま



2018白聖芸術祭での「歌の祭り」(2018.12.13 文房堂ギャラリー)



「第20回 歌の祭り」(2019.2.23 笹塚ブルーティ)

れながら、歌の祭り有志16名が歌唱、器楽演奏等を披露しました。多くの皆さんにご来場いただき感謝しています。

## ●第20回「歌の祭り」

本年2月3日(日)午後12時より笹塚ブルーティで開催されました。S20年卒の及川喜一さん(初参加!)からS63年卒の大津さんまで、43年次に及ぶ幅広い年齢層の25名が参加、シャンソン、カンツォーネ、オペラのアリアから演歌、民謡まで多彩な曲目をご披露いただきました。さらに第20回を迎えた今回は記念イベントとしてプロのシャンソン歌手、すぎきちえんさんをお招きし、すばらしい歌唱を聴かせていただきました。記念の会にふさわしい盛大な会になりました。



## 『在京白聖会 50年の歩み』 発送

2019年2月完成、希望者には5月の総会受付で有料頒布も

在京白聖会創立50年記念事業の一環として企画された『在京白聖会 50年の歩み』が2月21日に完成、会費納入者に配布されました。故・内村泰会



『在京白聖会 50年の歩み』  
2019年2月21日発行  
B5判並製 232頁

在京白聖会創立50年記念事業の一環として企画された『在京白聖会 50年の歩み』が2月21日に完成、会費納入者に配布されました。故・内村泰会

## 特別寄稿

谷村邦久・前白聖同窓会長（岩手県I-LC推進協議会長）  
I-LCの岩手県誘致・実現を訴える

谷村邦久さん  
(国際リニアコラ  
イダー)

「I-LC推進産学連携フォーラム」2019年1月18日東京国際文化会館にて

ります。

このI-LCの建設を日本に誘致する活動が多年にわたって展開されており、強固な岩盤を有する岩手県の北上山地が最適地とされ世界の研究者に大きな期待をされているところです。

これが実現すればアジア初の大規模国際科学機構が誕生し、世界中から数千人の研究者・技術者とその家族が生活することとなり、シリコンバレーのような国際研究都市が岩手県に形成されます。

I-LCは正式に建設が決まった後、4年間の準備期間と10

から寄せられたエッセイ、巻末の年表、歴代役員一覧などと併せて、在京白聖会50年の歴史を鮮やかに追想していただける内容となっています。

なお、本記念誌は、在京白聖会のH30年度の年会費を1月31日までに払済みの会員に無料で贈呈しましたが、若干部数に予備があり、第51回の総会場で、その後の年会費支払者に無償で、さらに追加希望者には有料(2000円)でお分けします。ご希望の方は、総会の受付時にお申し出ください。

年間の建設期間を経て2030年以降の運用開始を目指しています。

I-LC実現による波及効果は地方創生、復興、科学技術イノベーションさらには人材育成といった多岐にわたるもので、壮大な国家プロジェクトの実現によってI-LC国際拠点を基盤に地域主体の立案・挑戦から生まれる「世界につながる新たな地方創生」を目指しているものです。

最終的には政府の総合的・大規模な判断となりますが、地元のみならず国民の皆様の一層の理解が深まるよう活動を加速してまいりますので、絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(谷村邦久 S41卒)

## ル・サロン・プラン 芸術鑑賞クラブ

## 「顔真卿展」を鑑賞

2019年2月13日(水)

本年2月13日(水)、上野の東京国立博物館で開催中の「顔真卿展」を鑑賞しました。参加者は12名。顔真卿の劇跡「祭姪文稿」は日本初公開のもの。ほかにも超一級品の拓本や日中の書の名品がこれでもかというほど多数展示されており、真の書を心行くまで鑑賞することができました。

(案内人・佐藤法雄 S50卒)



東京国立博物館前で(撮影：馬場 信さん)

## 白聖歌会

だれでも投稿できるWEB歌会、戸田忠祐さんの講演も予定

WEB歌会「白聖歌会の部屋」はどなたでも作品を投稿できます。また、この掲示板には2カ月に一度、会員の作品を投稿し

ています。白聖芸術祭最終日は恒例の野口田鶴子さん(S40卒)による宮沢賢治と白聖歌会の作品の朗読を行っています。

さらに、今年の白聖芸術祭では、昨年12月15日に『Gook man ノート 卒寿からの提言』を上梓された戸田忠祐さん(S20年次4年卒)の講演会を主催する予定です。白聖歌会では故・小川達雄さん(S22卒)が学徒勤労動員の体験をお話されましたが、戸田さんのご著書にも詳しく書かれています。戦中戦後混乱期の体験を直接お伺いできる貴重な機会ですので、どうぞご期待ください。詳細は次号にて紹介します。



戸田忠祐 (S20卒) 著  
『Gook man ノート』  
文芸社 1,700円+税

## 編集後記

在京白聖会は創立50年を迎え、次の100年に向けて一歩を進める第51回総会を50歳年次幹事ではなく有志の幹事団で迎えることになった。T・S・エリオットによれば新しい体制は常に古い伝統の学びから生まれる。今回がまさにそう。『50年史』の対談にもあるが、初心に戻る形だ。次の進化形は、白聖の伝統の中から生み出される。(Y)